



# 山梨県流通センターニュース

編集・発行 協同組合山梨県流通センター（中央市山之神流通団地2-6-1）  
TEL (055) 273-4711 FAX (055) 273-4713



▲ 開場時の様子



▲ 展示場内のにぎわい



消防車の展示 ▶

## 今年も大盛況、来場者、およそ5千人

### 第19回センターでバザール 赤い羽根募金へ107,238円

第19回「センターでバザール」が、9月1日（土）に流通会館で開かれた。当日は朝のうち雨に見舞われたが、オープン直前には上がり、日中も暑すぎず寒すぎずの快適なイベント日和となった。

例年通り、物販会場となった展示場前入り口には、開始時間前から多くの人々が長い待機列をつくり、開扉と同時に屋内販売15社が提供する格安商品に群がり、お買い得品を両手いっぱい抱える人が多かった。

イベント会場では、海外旅行やテーマパークペアチケットをはじめとした豪華な景品が当たる大ビンゴ大会や〇×クイズが催され、多くの参加者で盛り上がった。また、ミリラニアロハによる優雅なフラダンスは、ステージに華を添えた。

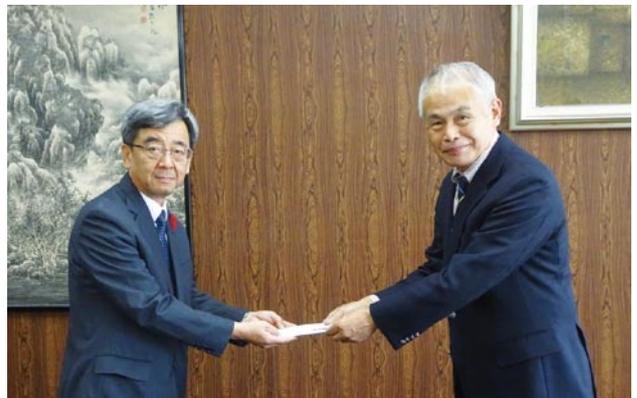
働く車コーナーにはパトカー、消防車、救急車、クレーン車などが勢ぞろいし、子どもたちは乗車体験をしたり、憧れの制服を着たりして、笑顔で楽しんでいた。

流通会館前駐車場には、今年も30店舗近くの店舗が出店した。元気な呼び込みとおいしそうな匂いに

来場者は列をなし、どこも大いににぎわった。

団地内企業・従業員提供によるバザーブースも、例年と同じく人気を呼び、完売となった。

バザーブースでの売り上げ107,238円は全て「赤い羽根共同募金」へ寄付し、10月2日には当組合で贈呈式が行われた。



▲ 赤い羽共同募金に浄財を贈る

## LoMAの会 静岡と熊本流通団地の取り組みについて

当組合青年部『LoMAの会』（会長 小林愛直氏）は、7月（協）静岡流通センターの視察及び、静岡・山梨県卸団地青年部交流会、10月熊本流通団地（協）の視察を行った。

### 静岡視察（協）静岡流通センター視察

平成30年7月7日（土）、参加者6人は（協）静岡流通センターを視察した。  
第2団地増設についての説明を聴いた後、プラスチックモデル・トイホビー等の企画・製造・販売している青島文化教材社を訪問し、青島社長から社員教育や事業の取り組みについてご教示をいただいた。

### 静岡・山梨県卸団地青年部交流会

視察終了後、静岡市内のホテルにおいて、今年で第6回目となる静岡県（（協）静岡流通センター、（協）浜松卸商センター、（協）沼津卸商社センター）と当組合の青年部合わせて24人による交流会・情報交換会を行った。今回の担当幹事（協）静岡流通センター青年部「静凜会」小倉圭太郎会長のあいさつから始まり、各団地青年部の会長より活動報告が行われた。その後は懇親会となり、「静凜会」会員によるご当地クイズなどさまざまなイベントにより、各団地間の垣根を越えて交流を図り、盛大ににぎわった。



▲ 静岡・山梨県青年部交流会

### 熊本視察 災害対策、まず自らの手で

平成30年10月12日（金）参加者8人は熊本流通団地（協）を視察した。熊本では、木下龍起理事長、山内浩専務理事から貴重なお話を聴くことができた。主な内容は次の通り。

揺れによる団地内の建物への被害は比較的少なかったものの、商品や什器は大きな被害を受け、各組員企業の機能が復旧するまでには約1ヶ月の期間を要した。

被災後、組合として最優先で着手したのは、復旧にかかる費用の一部を国と県が負担するグループ補助金という制度を利用した資金調達だったという。

また、揺れだけでなく、インフラ停止により民間・地方公共団体からの支援を受けることが難しく、物資不足に悩まされたとのことだった。

この視察を通じて、各企業が最低限の災害対策を常に講じておくことが望ましいと実感した。



▲ 熊本市流通情報館前にて

## 防災訓練等に向けて組織体制始動

### BCP対策チーム 細田 俊 氏をリーダーに選任

第1回BCP対策チーム会議が8月22日（水）に開かれた。

当組合は平成28年度に組合BCPマニュアルを作成し、平成29年度には、早くからBCPに取り組んでいる小田原卸商業団地（協）を視察し、当組合が今後検討しなければならない項目として、団地内の防災訓練の実施方法、防災機器の点検方法、防災対策組織（訓練・点検）の設置等が挙げられ、災害に備える必要があることが認識された。このため、平成30年度は、BCP対策チームを設立し、事業を推進することとした。

チームのリーダーを総務委員会委員長の細田俊氏とし、委員長の下に防災機器担当、防災訓練・組織担当を設置した。

第1回の会議では、組合が平成28、29年度に取り組んできた防災対策、防災機器の説明があり、今後の予定としての熊谷流通センターの防災訓練（11月13日）の見学や総合防災訓練の日程について、話し合いが行われた。

なお、組合の総合防災訓練は、11月22日に行われることになり、70人以上の参加が予定された。



## 従業員の健康は会社の財産

### 協会けんぽ 健康講演会 北嶋グループ長、いま注目の「健康経営」を強調

定例懇談会が6月21日に開かれ、組合員32人が出席した。講師は、全国健康保険協会山梨支部 企画総務部 保健グループ 北嶋英子グループ長。テーマは「経営者が気をつけねばいけない従業員の健康管理について」。

なぜ、いま従業員の健康づくりが必要なのかについて、北嶋講師は①少子高齢化による労働者の減少、②生活習慣病の増加などによる医療費の増大、③メンタルヘルス不調者の増加があり、従業員の労働力の維持・確保のためには従業員の健康づくりを進めることが重要とした。

日常的に、血圧の高い方や、血糖値が200を超える方が働いている事業所も散見されるが、従業員の健康は会社の財産であるので、経営者が健康の保持・増進に取り組む経営スタイル「健康経営」がいま、注目されていると強調した。

協会けんぽ47支部間で平成30年度から5つの項

目の取組結果が保険料率に反映されるインセンティブ制度（報奨金）導入されたことの説明もあり、特に山梨県支部管内ではジェネリック医薬品使用割合が全国で46位と下から2番目の低さであり、ジェネリック医薬品の使用に努めてほしいとの要請もあった。



## 防犯カメラ64基ライブカメラ2基の完成を記念

### 定例懇談会 講演会通じその効果を確認

11月定例懇談会が11月1日、防犯カメラ・ライブカメラ完成記念講演会として、流通会館2階大会議室で開かれた。

組合が防犯カメラを設置したのは、平成24年だったが、老朽化したため、BCP対策としてWi-Fi利用のもの64基に取り換え、合わせてライブカメラ2基を設置した。

組合員・準組合員約50人が参加し、会場内のスク



リーンには、防犯カメラから送られている団地内道路、駐車場、流通会館内の映像が終始流れる中での講演会となった。

講師は、山梨県警察本部 生活安全部 調査官 河野昭彦氏で、テーマは「犯罪抑止対策について」である。

講演に先立って、管内の南甲府警察署 生活安全課長 伊藤修一氏から、管内情勢についての説明があり、講演に入った。

河野調査官の講演内容は①見守り力の強化は、防犯パトロールから②防犯カメラは、犯罪抑止に効果あり（山梨県流通センターの実例）③家庭における防犯対策は鍵かけの徹底（二重ロック）④電話詐欺、還付金詐欺の防止対策⑤子どもと女性を対象とした犯罪防止対策⑥サイバーセキュリティの重要性⑦県内暴力団情勢と3ない運動+1⑧防犯CSR活動と事例について⑨県少年サポートネット推進事業など、警察の幅広い活動についてであった。

報道機関も入り、県民に当組合の取り組みが紹介されることとなり、有意義な講演会となった。

# むろいAが2連覇

## ボウリング大会 個人戦は渡辺一徳さん(国分首都圏A)がトップ

今年で第22回目を迎えた流通センターボウリング大会は6月12、15、21、27日の4日間予選大会、7月12日決勝大会が、甲斐市の大統スターレーン双葉で行われた。

参加チーム数は19社、60チームとほぼ例年どおり。

7月12日の決勝大会には、16社23チームが進出した。

今年、むろいAが昨年度に続き、2連覇を達成した。

準優勝は国分首都圏Aで、3位はマルモAとなった。

個人の部の優勝は、渡辺一徳さん(国分首都圏A)が獲得した。

上位(3位まで)の結果は次の通り。



▲優勝したむろいA



▲準優勝した国分首都圏A



◀個人の部優勝の渡辺一徳さん

### 団体の部 (2ゲームトータル)

※敬称略

順位	会社名	メンバー	スコア
優勝	むろいA	村松、入倉、菊地、伊藤	1,415
準優勝	国分首都圏A	渡辺(-)、三森、渡辺(公)、堀内	1,318
3位	マルモA	神田、穂山、廣瀬、小林	1,317

### 個人の部 (2ゲームトータル)

順位	氏名	会社名	スコア
優勝	渡辺一徳	国分首都圏(株)	419
準優勝	伊藤明里	むろい(株)	417
3位	菊地正三郎	むろい(株)	398

# (株)日医工山梨グループが三連覇

## ソフトボール大会 12チームが熱戦を展開



◀優勝した(株)日医工山梨グループ

10月21日(日)、平成30年度流通センターソフトボール大会が釜無川スポーツグラウンドで行われた

参加チームは12チームで4グループに分けてリーグ戦を行い、勝ち残った4チームが準優勝、決勝へ進んだ。

勝ち上がったのは、マコト医科精機(株)、(株)日医工山梨グループ、Bambi's(株)スズケン)、チームマルモの4チーム。

決勝戦は、27年度、28年度優勝の(株)日医工山梨グループとBambi's(株)スズケン)の戦いになり、17対8で(株)日医工山梨グループが3年連続3回目の優勝を果たした。

2位はBambi's、3位はチームマルモ、4位はマコト医科精機(株)という結果であった。

▶準優勝したBambi's(株)スズケン)



## キーパーソンをターゲットに

### 鬼塚 講師 社員研修会で強調

9月27日（木）、中央市商工会・当組合共催の社員研修会「営業マンが苦手な相手を得意に変える！営業キーパーソン攻略術」が、流通会館で開かれ、39人が参加した。

講師はZACCES Consulting(株)代表取締役・鬼頭秀彰氏。鬼頭氏は「営業マンが付き合うべきは、決定権のあるキーパーソンである」と述べた上で、「まずは性格を見極めることの大切さ」を強調した。

鬼頭講師は、性格診断テスト『エゴグラム』を活用して講義を進めた。参加者は自分にとってのキーパーソンにあたる人物を分析し、アプローチ方法を探った。

そのほかにも手紙を使った切り出し方や、プロファイリングシートの活用など参加者にとって役立つ研修会となった。



## 6社から11人参加

### フォークリフト講習会 4日間みっちり研修



前期フォークリフト運転技能講習会が平成30年6月2日、3日、9日、10日の4日間、湯村自動車学校で開かれ、6社から11人が参加した。

需要の高いフォークリフト運転技能講習会は平成27年度から、前期・後期と年二回の実施としている。

## 的確な状況判断力養う

### 中堅社員研修 2社4人が参加、4日間学ぶ

10月16日から24日にかけて、組合員企業の次世代を担う社員を対象とした研修会が、流通会館で開かれた。

今回は2社から4人の社員が参加した。山梨県職業能力開発協会から講師の山田圭太氏を招き、グループワークやディスカッションを通して、中堅社員としての「あるべき姿」を模索した。中堅社員は上司・部下・同僚・社外者と、多方向にバランスをとる立場にあり、良好なコミュニケーション能力が必要不可欠だという。

認知度の高いPDCAや、近年注目されているOODA（観察・状況判断・決定・実行）など、具体的なスキルを学習することができ、今後に生かせる有意義な研修となった



## 夢の国で思い出づくり

### ディズニーシー日帰りバスツアー

組合員、準組合員、従業員とそのご家族を対象にしたディズニーシー日帰りバスツアーを6月23日(土)に実施した。今年で第3回目となり、11社から35人と多くの方が参加し、にぎやかなツアーとなった。

参加者はそれぞれ家族や友人、同僚と夢の国を満喫した。

来年度も今年度同様のツアーを計画しているので、今回参加できなかった方は次回ぜひご参加ください。



## 猛暑に負けず、にぎやかに交流

### 納涼懇親会 旨い料理に舌鼓

平成30年度の納涼懇親会が7月27日甲府富士屋ホテルで開かれた。今年度も多くの来賓を招き、組合員、準組合員、事務局合わせて72人が出席し、終始にぎやかな会となった。

開会にあたり栗山理事長があいさつし、防犯カメラの運用、防災、これからの組合について話された。来賓を代表して佐野宏山梨県産業労働部長と田中久雄中央市長から祝辞をいただき、乾杯の発声を出発。山梨県中小企業団体中央会細田幸次会長からいただいた。出席者はおいしい料理と旨い酒を楽しみながら歓談し、懇親をさらに深めた。



## 津卸商業センターの課題、対策探る

### 理事・役員視察研修会を実施

理事・役員視察研修会は、栗山理事長を始め理事・役員・事務局員合わせて9人が、10月18日～20日の2泊3日の日程で、三重県津市にある協同組合津卸商業センターを視察した。

津卸商業センターからは、宮木理事長、稲森専務理事、中津係長に対応していただいた。津は規模的には、面積、組合員数とも当組合より小規模だが、団地開設は昭和47年11月と当組合より約5年古く、老朽化対策等、当組合とも共通の課題を抱えている。

団地の特徴としては、約8割が連棟建物群で構成されているため、建替、修繕等も困難であり、建物及び構築物の老朽化も激しく、会員各社から建替え需要も出ている。立地条件も、伊勢湾に近い、30年以内に発生が予想されている南海トラフ地震による津波や液状化現象への対応が、BCP対策としてもせまられている。

宮木理事長は上記の課題解決のために、卸団地機能向上支援事業の補助金も活用しながら、平成23年

度から団地再整備事業に取り組んでおり、再整備のモデルケースをいくつか作成し、検討を進めている。

組合員のニーズを収集し、可能な限り組合員の意向に即した提案を実施するために、子会社を平成29年6月に設立し、損害保険事業及び事務代行・業務受託事業を実施し、組合員の利便性向上を図っている。

質疑応答も含め2時間以上の情報交換後に、団地内にある連棟建物群や空き地などを案内いただき、視察は無事終了した。



## 流通会館のAEDが2台となる

流通会館の事務局内に設置のAEDは、耐用年数が切れたため、新規に購入することとしたが、新たに夜間及び事務局が休みのときに、組合員の従業員や来客者への緊急対応も可能となるように、警備室入り口奥にも新しく2台目を設置した。

警備室入り口奥に設置のAEDには、子供用のパッドも備え付けられているので、会館利用者等に子どもがいた場合には、対応がスムーズとなる。

緊急対応時には、持出し可能ですのでご連絡下さい。



## 集団健診、732人が受診

7月23日～27日までの5日間、流通会館で集団健康診断が実施され、44社から732人が受診した。

今年度から新たに、採取した血液から検査可能なC型肝炎抗体検査とB型肝炎抗体検査を追加し、希望者を募った。

自身の健康と向き合うために多くの従業員が、会場へと足を運んだ。



## インフルエンザ防ごう

### 466人が予防接種受ける

インフルエンザの流行に備えて、11月1日（木）、6日（火）、7日（水）の3日間、流通会館で組合員・準組合員企業の従業員とその家族を対象にインフルエンザ予防接種を行った。

今年度の接種人数は466人で、昨年度の392人を大きく超える申し込みがあった。

また今年は、日中忙しい方のために市川メディカルクリニックに夜の部を設けた。

### 法律相談会のお知らせ

組合顧問弁護士 笹津備文氏（小野法律事務所）による無料法律相談をご利用いただけます。お申込みの都度日程調整のうえ、実施いたしますので法律に関するお悩みがある方は、是非この機会をご利用下さい。希望の方は事務局（内藤）までご連絡をお願いします。

### 「建築相談窓口」創設のおしらせ

近年では頻発する大きな地震等、自然災害が多く発生しており、建物の耐久性や耐震性は非常に重要となっている。新たな組合員サービス事業として『建築相談窓口』を設置し、下記内容によりご利用頂けますのでご案内致します。

- 建築相談窓口 組合事務局にて相談を随時受付し取次。
- 建築相談窓口委託先 山梨建築構造設計協会。
- 組合員の相談料 初回相談料は無料。（初回相談料は組合が負担する）以後相談を継続する場合は有料。
- 相談内容の範囲 建物のリフォーム、新築、耐震診断、設計事務所・建築業者紹介等建物に関する内容。ただし、建物の目視および設計図面で確認できる範囲の内容に基づいた回答。それ以外の依頼については、委託先と個別契約になるので、別途料金が発生する場合もある。
- 申込方法 不動産に関する建築相談依頼書により申込を行う。

## 組合員変更事項

組合員名	変更前	変更後
リコージャパン(株) 山梨支社	支社長 米谷 正児	支社長 鈴木 淳

## 準組合員変更事項

組合員名	変更前	変更後
(株)ワイ・イー・エス	社長 磯部 直幸	社長 楠木 節男

## 準組合員の加入・脱退

準組合員名	加入・脱退別	住所
国土防災技術(株)	加入	流通団地2-5-3
東京エレクトロニクス テクノロジーソリューションズ(株)	脱退	流通団地北3番地
コスモプロダクツ(株)	加入	流通団地北3番地

## 『事務局日誌』 ～6、7、8、9、10月の主な会議等～

- ◆6月 2～3日 フォークリフト免許取得講習  
5日 正副理事長会議  
9～10日 フォークリフト免許取得講習  
12日 リサイクル・一斉清掃日  
12日 未来検討特別委員会Bグループ  
12日 ボウリング大会予選(東B)  
14日 未来検討特別委員会Aグループ  
15日 理事会  
15日 ボウリング大会予選(西・南B)  
18日 L o MAの会パワーディナー  
21日 定例懇談会  
21日 ボウリング大会予選(北1B)  
23日 東京デイズニーツアー  
27日 ボウリング大会予選(北2B)
- ◆7月 3日 正副理事長会議  
4日 廃蛍光管収集  
6日 南ブロック懇談会  
7～8日 山梨・静岡組合青年部交流会  
12日 リサイクル・一斉清掃日  
12日 ボウリング大会決勝  
13日 北ブロック懇談会  
23日 集団健康診断(27日まで)  
27日 納涼懇親会(於: 甲府富士屋ホテル)
- ◆8月 6日 西ブロック懇談会  
7日 正副理事長会議  
9日 リサイクル・一斉清掃日  
22日 BCP対策チーム会議
- ◆9月 1日 センターでバザール  
4日 正副理事長会議  
10日 未来検討特別委員会  
12日 リサイクル・一斉清掃日  
20日 理事会  
21日 L o MAの会パワーディナー  
26日 研修・厚生委員会、ソフト主将会議  
27日 社員研修会(商工会との共催事業)
- ◆10月 2日 正副理事長会議  
4～5日 新入社員フォローアップセミナー  
7日 南ブロックコンペ  
12日 リサイクル・一斉清掃日  
12～14日 L o MAの会熊本卸団地視察研修  
15日 北ブロック懇談会  
16日 中堅社員研修(18、22、24日)  
18～20日 理事・役員視察研修会(津卸商業センター)  
23日 社員交流会運営委員会会議

## かいがね

その日は前夜来の強い雨がなかなか降りやまず、旧甲州街道をたどるウォーキングの2回目、下高井戸から府中の分倍河原までを歩く日で、仲間とともに甲府を朝6時17分の普通電車で発ち、高尾で京王線に乗り換えた時のこと。通勤通学時間帯だったため空席は見当たらず私達は吊革にぶら下がったのだが、電車が発車すると間もなく乗客の多くがスマホに目を落とす中で、前の席で文庫本を読む若い女性が私達に気づいて腰を上げようとした。

きっと、私達を老人と見てのことだろうが、私は彼女を制して「僕たちはね、これからこの雨の中を下高井戸から20キロ近くも歩く足腰には多少自信のある物好きな老人集団なんですよ。なので立っていることは何でもないから、そのままかけていてください」と応じた。彼女は改めて私達を見まわして、確かに皆リュックを背負うウォーキングスタイルをしていることで納得したのか、ちょっと微笑んでそのまま腰を下ろし、「すごいですね、ホントですか?」と言う。

それがきっかけとなって、先月から月に1回ずつ旧甲州街道を下諏訪に向けて歩きつないでいて、第1回目は日本橋から下高井戸で今日が2回目であること。みな山梨から来ていることなどを話した。彼女は手にしていた文庫本を閉じて私達に顔を向けながら興味深そうにうなづき耳を傾けてくれた。私はちょっとおしつけかなとは思いつつ「学生さんですか、何年生?」と聞くと、「はい、1年です」と答えが返ってきた。「へえ、じゃあホヤホヤだね。これからの4年間はきっと楽しいことが多い、僕は大学時代は人生で最も自由で貴重な時期だったと思っているんですよ。ただ、勉強しなかったのが大きな後悔で、それに気づいたのが遅かったんだけどね」などと人生の先輩ぶって、「大学4年間で勉強したのか、そうでないかは仕事に就いてから大きな差になる。学生生活を楽しみながらも勉強を忘れないでくださいね」と初対面の彼女にアドバイスめいた話を続けたのだった。

そんな話をどう聞いたかは分からないが、彼女はまっすぐ目を向けて時折は微笑みながら言葉を交わし、私達をいつになく若やいだ楽しい気持ちにさせてくれた。わずか20分足らずだったが、髪を真ん中で分けて後ろできつく結び化粧気はなく地味なシャツにジーパン姿は、甲府から電車に乗ったとき前の席にいた付け睫毛に赤い口紅、更に真っ赤なマニキュアの子女子高校生に何やら情けない思いをした記憶が残っていたこともあって、何とも爽やかで新鮮な印象を与えてくれたのである。

(M)